

2008年12月リスク区分表示追加しました。

この説明文書は服用前に必ずお読み下さい。また、必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

かぜ薬 ヒストミンV[®] 第②類医薬品

ヒストミンVは「かぜ」のいろいろな症状に効果をあらわす成分を総合的に配合した総合感冒薬です。本剤には、頭痛・発熱・関節の痛みなどをしずめる解熱鎮痛剤イブプロフェン、鼻水・鼻づまり・くしゃみなどのアレルギー症状の緩和に役立つ抗ヒスタミン剤d-マレイン酸クロルフェニラミンをはじめ、せきやたんにも効果があるヒベンズ酸チペピジン、グアヤコールスルホン酸カリウム、dl-塩酸メチルエフェドリンなどが配合してあります。

⚠ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと

- (1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- (3) 15才未満の小児。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬）

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと

(眠気があらわれることがある。)

4. 服用時は飲酒しないこと

5. 5日間を超えて服用しないこと

🗨 相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 授乳中の人。
- (4) 高齢者。
- (5) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
- (6) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (7) 次の症状のある人。高熱、排尿困難
- (8) 次の診断を受けた人。甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病、緑内障
- (9) 次の病気にかったことのある人。
胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン氏病

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、口内炎
精神神経系	めまい
その他	排尿困難、目のかすみ、耳なり、むくみ

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しき等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)等があらわれる。
腎 障 害	尿量が減り、全身のむくみ及びこれらに伴って息苦しき、だるさ、悪心・嘔吐、血尿・蛋白尿等があらわれる。

無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、悪心・嘔吐等の症状があらわれる。(このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。)
間質性肺炎	空せき(たんを伴わないせき)を伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。(これらの症状は、かぜの諸症状と区別が難しいこともあり、空せき、発熱等の症状が悪化した場合にも、服用を中止するとともに、医師の診療を受けること。)
ぜんそく	

(2) 5～6回服用しても症状がよくなる場合(特に熱が3日以上続いたり、又熱が反復したりするとき)

3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談すること
便秘、下痢、口のかわき

効 能

かぜの諸症状(のどの痛み、発熱、悪寒、頭痛、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、せき、たん、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和

用法・用量

次の量を、水又はぬるま湯で食後なるべく30分以内に服用して下さい。

年 齢	1回量	1日服用回数
成人(15才以上)	3錠	3回
15才未満	服用しないで下さい。	

<用法・用量に関連する注意>

用法・用量を厳守して下さい。

成分・分量 9錠中

成分名	分量	作用
イブプロフェン	450mg	熱をさげ、頭痛や関節・筋肉の痛みを緩和します。
d-マレイン酸 クロルフェニラミン	3.5mg	鼻水、くしゃみ、鼻づまりなどのアレルギー症状をおさえます。
ヒベンズ酸チペピジン	75mg	せき中枢に作用して、せきをしずめます。
dl-塩酸 メチルエフェドリン	60mg	気管支をひろげ、たんを出やすくします。
グアヤコール スルホン酸カリウム	250mg	たんを切れやすくします。
無水カフェイン	75mg	頭痛をやわらげます。
硝酸チアミン(ビタミンB1硝酸塩)	25mg	かぜの時に消耗の激しいビタミンを補います。
リボフラビン(ビタミンB2)	12mg	

添加物：ヒドロキシプロピルセルロース、CMC-Ca、メチルセルロース、ステアリン酸Mg、無水ケイ酸、乳糖、セルロース、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、マクロゴール、酸化チタン、カルナウバロウ

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管して下さい。
- (2) 小児の手の届かない所に保管して下さい。
- (3) 他の容器に入れ替えないで下さい。
(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) 水分が錠剤に付着しますと、表面の一部が溶けて斑点を生じることがありますので、誤って水滴を落としたり、ぬれた手でふれないで下さい。
- (5) 使用期限をすぎた製品は服用しないで下さい。



製品のお問い合わせ先

小林薬品工業株式会社 お客様相談室
電話 058(278)3933
受付時間 10時から16時まで(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
☎0120-149-931(フリーダイヤル)

製造販売元

本社所在地

小林薬品工業株式会社

岐阜県岐阜市中鞆1丁目139番地
東京都中央区日本橋箱崎町40番6号